

ひろば・ちがさき

No.855

2009年9月18日

市民会議・市民自治市議団

茅ヶ崎市茅ヶ崎1-1-1 市役所内 0467-82-1111

中嶋 てるお	86-5543
須田 ゆずる	86-8788
岸 正明	87-8766
小磯 妙子	52-6731
和田 清	67-5980

自閉症児への支援の現状と課題について

9月2日(水)行われた定例市議会
で、**和田 清 議員**が一般質問を行
いました。

**重い障がいを抱えた子どもと
その家族を支えるのは？**

【和田議員】高田に住む12歳のU君は、自閉症と知的発達遅滞という障がいを負っている。体格も立派になり、暖かい家族に支えられながら、すくすくと育ち、茅ヶ崎養護学校の中学部へ進学した。

しかし最近では、理由は分からないが、パニックを起こして暴れ、物を壊したり、家族に暴力を振るったりするようになってしまった。祖父母も協力し、何とか介護してきたが、限界である、との相談があった。

「児童相談所に助けを求めたが、預かってくれる施設は、定員一杯で、短期入所(ショートステイ)も全く空きがない、との事で、途方に暮れている。

このままでは、家族がぼろぼろに

なってしまう。産んだ親の責任だ。

いつそ、子どもと一緒に死のうと何
度考えたか分からない。でも、それ
ではいけないと思いとどまった。

「助けてください！」との事だった。
児童相談所に聞くと、「障がい児を
抱えた多くの家族が、育児の大変さ
から追い込まれている。いつ虐待や
心中が起きてもおかしくない家族は
沢山いる。社会資源が決定的にたり
ないのです。」と、全く解決策が見え
ない。

決定的に足りない児童施設！

【和田議員】児童虐待等が問題にな
っているが、そうした児童を預かる
施設は決定的に不足している。

ましてや、障がいを持つ子ども達は、
それだけ育児が大変なのだから、レ
スパイトサービス(介護者の一時休
息支援)のためにも、安心して預か
る施設が必要である。

児童施設が県の管轄であることは承
知しているが、責任を押し付けあう

事無く、早急な支援を行うべきであ
ると思うが、市長の見解は？

【市長】育児の困難さを抱えている
家族の支援の必要性は認識している
。関係団体とも協議し、どうした
支援が出来るのか検討していきたい。

自閉症の正しい理解を！

【和田議員】自閉症は、生れながら
にして持つ脳の機能的障がいとの通
説が一般的であるが、「育て方が悪
い」とか、「治る病気である」といつ
た誤解をする人が多い。そうした誤
解が、家族を苦しめている。

正しい理解をすると共に、障がい特
性を理解した専門的な教育が必要で
あるが、教育委員会として、どう取
り組んでいくのか？

【教育指導部長】教員の専門性を高
めるための研修等に取り組み、自閉
症を始めとした個別支援の必要な子
どもに対する教育を充実させていき
たい。

